

第2学年 英語科 学習指導案		日時	平成30年11月16日(金)
単元名	Unit5 Universal Design	学年・組 人数	第2学年B組 男子19名 女子16名 計35名
指導者	藤井 大誠	場所	2年B組 教室

### 1. 単元観

本単元では、新学習指導要領(5)「書くこと」の(イ)「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにすること。」を目標とする。教科書の題材は、福祉の題材として今日、社会に浸透しつつある「ユニバーサルデザイン」である。ユニバーサルデザインを採用した身近な製品や施設の紹介を通して、普段はあまり気にせず使っている身の周りの物に注目でき、あまり知られていなかったことを知ることで、誰もが暮らしやすい社会の在り方について考える題材となっている。言語材料は、if, that, when, because など従属接続詞がまとめて扱われている。これらを使うことにより理由を付けて自分の考えを伝えたり、条件を付けて論じたりすることが可能になるため、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くという学習内容にふさわしい題材であると考えられる。

### 2. 生徒観

本単元に係る事前アンケートの結果から、英語科における4技能の1つである、「書くこと」が「得意である」(37%)と「不得意である」(63%)と答えた生徒の割合の差が大きいことがわかった。不得意であると感じている理由として「どのような文法や文構造を使えば良いかわからないから」というものが挙げられた。日本語から英語に直していく作業は、日本語の情報が多いほど難しいものになると考えられる。生徒は、伝えたいことはたくさんであるが、それが多くなればなるほど苦手意識を持つようになっているのが現状である。

### 3. 指導観

生徒の実態を踏まえ、より詳しく自分の気持ちや考えを伝えるためにはどうしたら良いか考えさせ、既習事項と新出事項の両方を用いて自身の考えを伝えていくことができるような学習活動を展開していく必要があると考える。

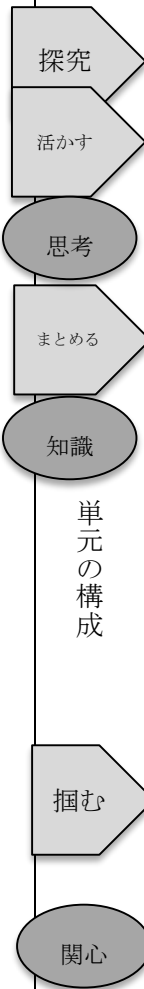
指導にあたっては、生徒が主体的に自分の英文と向き合い、接続詞を用いることでより詳しく、わかりやすく相手に伝えることができるということに気づかせていきたい。そのために、生徒が相手に伝えようという気持ちを高めさせる必要があると考える。

本単元において、自分の考えや気持ちの伝え方を理解させるために具体的に次の3つのことを重点的に行う。①因島に来る外国人サイクリストに因島の良いところを理由とともに伝える活動を仕組むことで学ぶ必然性を持たせる。②接続詞を用いることで今までより多くの情報を1つの英文に含むことができることに気づかせる。③接続詞の基礎的・基本的な力の定着を図るために、ICTを利用して、基本文の練習を繰り返し行う。

4. 単元構想

<b>めざす姿</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 因島の良いところや好きな場所について、意見や理由をつけて伝えることができる。</li> <li>● ペアワークにおいて間違えることを恐れず積極的に自分の考えを伝えようとしている</li> <li>● 接続詞 if, that, when, because を用いた文の形、意味、用法を理解している。</li> </ul>
-------------	---

	<b>目標</b>	<b>単元の課題</b> 「Universal Design」 (13 時間扱い) 相手にとって分かりやすい英文にするためにはどのような書き方をしたら良いか知ることができる。			
		<b>学習課題</b>	<b>生徒の学習活動</b>	<b>評価規準</b>	
		<b>◎我らの因島を伝えよう！(4)本時 10/13</b> 「今までに学習した内容を使って因島の紹介文を書こう！」 <b>◎接続詞 because (2)</b> 「理由を伝える時にどのように言えば良いのだろうか？」 <b>◎接続詞 when (2)</b> 「相手に「いつ」を詳しく伝えるためにはどうしたら良いだろうか？」 <b>◎接続詞 that (I think that-) (2)</b> 「自分の考えをわかりやすく伝えるためにはどうしたら良いだろうか？」 <b>◎接続詞 if (2)</b> 「条件を添えて相手に伝えるためにはどうしたら良いだろうか？」 <b>◎単元の課題設定 (1)</b> 「相手にとって分かりやすい文章ってなんだろう？何が分かりやすくさせているのだろうか？」	・学習した内容を用いて自分自身が紹介したい因島の場所を理由とともに表現する。 ・自分が好きな場所の理由を考え、辞書を用いて表現する。 ・紹介する場所についての情報を考える。特にいつ行けばベストなタイミングなのかを表現する。 ・自分の考えを相手に伝える手段の1つを用いて、自分が考える因島の良いところを表現する。 ・因島に来るならという条件を付け加えて相手を自分の英文に惹きつける方法を知る。 ・今までの英文の形とどのように違うのか、英文の違いに触れる。 ・単元の学習課題を作る。	・接続詞を適切に用いて紹介文が書けている。(表) ・相手に自分の英文を伝え、より良くしようとしている。(コ) ・接続詞 when の用法を理解し、適切に使うことができる。(知・表) ・接続詞 that の用法を理解し、適切に使うことができる。(知・表) ・接続詞 if の用法を理解し、適切に使うことができる。(知・表) ・今までの英文との違いを探そうとしている。(コ)	ワークシート 授業観察 ワークシート 授業観察 ワークシート 授業観察 ワークシート 授業観察 ワークシート



<b>生徒の実態</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを英語で表現する時、どのような言語材料を用いたら良いか分からないこと。</li> <li>・相手に伝わる英語で表現する力を身につけること。</li> </ul>
--------------	--

**本校で育成する資質・能力**

**【主体性】**

何度か目にした問題や表現に関しては自信を持って答えることができるが、違う問い方をすると自信を持って答えることができない。

どのようにしたら相手に伝わりやすい英文が書けるか考えさせ、柔軟に物事を捉え、英語で表現する力を身につけさせたい。

## 5. 本時の展開

### (1) 本時の目標

接続詞の使い方を確認し読み手の立場に立った因島の紹介文を書こう。

### (2) 学習の展開

学習活動 (□)	指導上の留意点 (○) 努力を要する生徒への手立て (●)	評価規準 【観点】(評価方法)
<p>0 挨拶</p> <p>□英語係が前に立ち、挨拶と日付、曜日、天気を確認させ、振り返りシートに記入させる。</p> <p>1 咲く咲く復習 (1)</p> <p>□接続詞の確認問題を解き、確認する。</p> <p>2 咲く咲く復習 (2)</p> <p>□単元の重要表現をペアで確認し合う。</p>	<p>●机間指導を行い支援する。分からなければノートを開き、確認させる。</p>	
<p>3 Today's Goal</p> <p>□因島の魅力といえばという話題で意見を出させる。この時、ただ単に場所や物を言うのではなく、「何故？」に着目した意見を出させる。</p>	<p><b>Today's Goal</b> 接続詞の使い方に注意し、読み手が行ってみたいと思える紹介文を書こう。</p>	
<p>4 展開</p> <p>□班の形になり、前時に書いた紹介文を班員に伝える。</p> <p>□自分以外の班員に紹介文を回し、読み合う。</p> <p>□接続詞を用いて表現できているかチェックしながら読んでいく。</p> <p>5 交流</p> <p>□班の中で、どんな紹介文が何故良かったのか、班員の紹介文をもとに意見を出していく。</p> <p>□交流をもとにして、読み手の立場に立った紹介文を再度書いてみる。</p>	<p>○自分は因島の何を紹介する文を書いたのかはっきりと伝えるようにさせる。</p> <p>○読んでいる時に疑問に思ったことを、本人に尋ねさせる。</p> <p>○出た意見を具体例とともに板書していく。</p> <p>●机間指導を行い、書き方が分からない生徒を支援する。(英語の語順が分かるワークシートを準備しておく。)</p>	
<p>7 振り返り</p>	<p>○本時のまとめと振り返りを記入させる。</p>	<p>・接続詞を適切に用いて紹介文が書けている。(接続詞を用いて6文以上)(表)</p>

## 6. 話し合いのデザイン

相手にとって伝わりやすい英文にするにはどんな書き方をしたら良いのかを掴む

因島の魅力的な観光スポットや因島ならではのものといえば？

- Suigun Castle(水軍城) • Ohama Beach (大浜ビーチ) • Mt. Shirataki(白滝山)
- Innoshima Bridge(因島大橋) • Okonomi restaurant(お好み焼き屋)
- Hassaku Daifuku • Beach etc...

なぜこの場所や物を紹介しようと思ったのか。

- 村上水軍についての歴史を知ることができる。
- 夏にはビーチで祭りを楽しむことができる。
- 小早レースをみることができる。
- 因島全体をみることができる。
- 瀬戸内海を見下ろすことができる。
- 因島にはおいしいお好み焼き屋さんがある。
- 地元の話を知ることができる。
- 甘酸っぱくておいしい。

友達が書いた紹介文が接続詞を用いて書かれているだろうか。

### 英文 A

Hello. My name is ~.  
I am going to talk about my favorite place in Innoshima.  
This picture shows Ohama beach park.  
This is my favorite place **because** I can see Innoshima bridge from here.  
It's so beautiful.  
I think **that** you like here **when** you come in summer.  
**If** you want to come, please check on the Internet.  
Thank you.

### 英文 B

Hello. My name is ~.  
I am going to talk about my favorite place in Innoshima.  
I think Ohama beach is good.  
I can see Innoshima bridge from here.  
You come there in summer, and you like here.  
You want to come here.  
Please check on the Internet.

### 英文 C

Hello. My name is ~.  
Ohama beach is my favorite place.  
It is very good.  
Please come here.  
Thank you.

- なぜその場所が好きなのか理由を述べるときに **because** が使われている。
- 訪れた時何ができるのか **when** を使って表現している。
- 訪れてみたいならという条件を付け加えるときに **if** を用いている。

- なぜその場所が好きなのか理由を述べているが、**because** は使われていない。

- 理由が述べられていない。
- その場所を選んだ理由を付け加える時に **because** が使える。

どんな紹介文だと読み手が行ってみたいと思えるだろうか。

- その場所をお勧めする理由がはっきりしている。
- その場所を訪れた時に、どんなことができるのかがはっきり書かれている。
- もっと詳しく知りたい時にどうしたらよいのかがはっきりと書かれている。
- 目立つ色が使われている。
- 綺麗な写真や魅力的な写真が使われている。
- 自分で撮影した写真が使われている。